

An aerial photograph of a coastal town built on a peninsula. The town features a large parking lot with many blue umbrellas, a marina with numerous boats, and a prominent white lighthouse on a small pier extending into the water. In the background, a large mountain with a snow-capped peak is visible under a clear blue sky.

かながわの 土木

神奈川県土木職オンライン相談会

令和8年3月9日

神奈川県県土整備局都市計画課計画グループ

説明者 廣野 大輔

(湘南港)



-本日の説明内容-

- 01 神奈川県について
- 02 県職員について
- 03 事業紹介
- 04 働き方について



-本日の説明内容-

01 神奈川県について

02 県職員について

03 事業紹介

04 働き方について

多彩な顔を持つ県土

神奈川県は、首都圏の一角に位置し、横浜や川崎などの都市部があるほか、湘南海岸や三浦半島の美しい海、大山や丹沢の緑あふれる山並みなどの豊かな自然環境や、箱根や古都・鎌倉といった歴史と文化に育まれた国際的な観光資源に恵まれています。



(県庁周辺)



(丹沢湖)



(旧吉田邸)

神奈川県基礎情報

面積: 約2,416km² (全国43位)
 人口: 約921.7万人 (全国2位)
 市町村数: 33市町村 (19市13町1村)
 職員数: 約8,800人
 ※警察職員、教育職員を除く



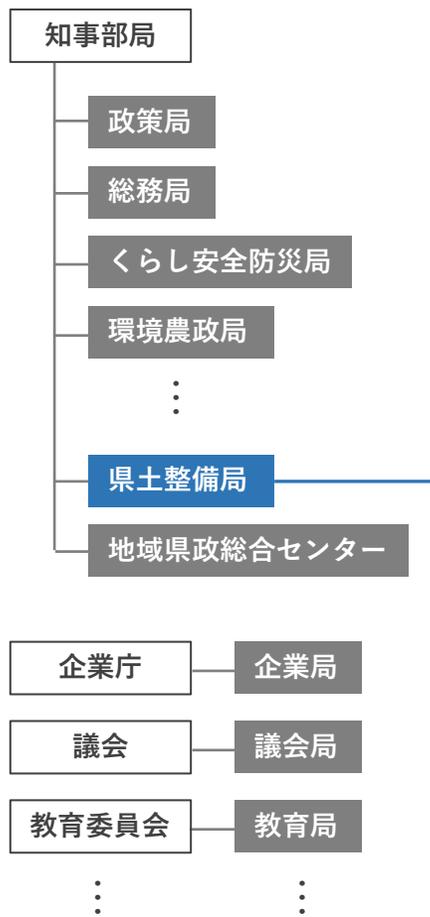
-本日の説明内容-

- 01 神奈川県について
- 02 県職員について**
- 03 事業紹介
- 04 働き方について

神奈川県の組織

知事部局という11の局と4つの地域県政総合センターのほか、神奈川県企業庁や神奈川県議会などがあります。

県土整備局は知事部局の1つで、約550人の土木職のほか、一般事務職、建築職、電気職、機械職など様々な職種の職員が働いており、主に政策的なことや県全体の制度運用、国との調整を行う「本庁所属」と、公共事業の設計や工事の発注、監督などの業務を行う土木事務所などの「出先機関」で構成されています。



県土整備局の主な組織



県職員
約 8,800人

※警察職員、教育職員を除く

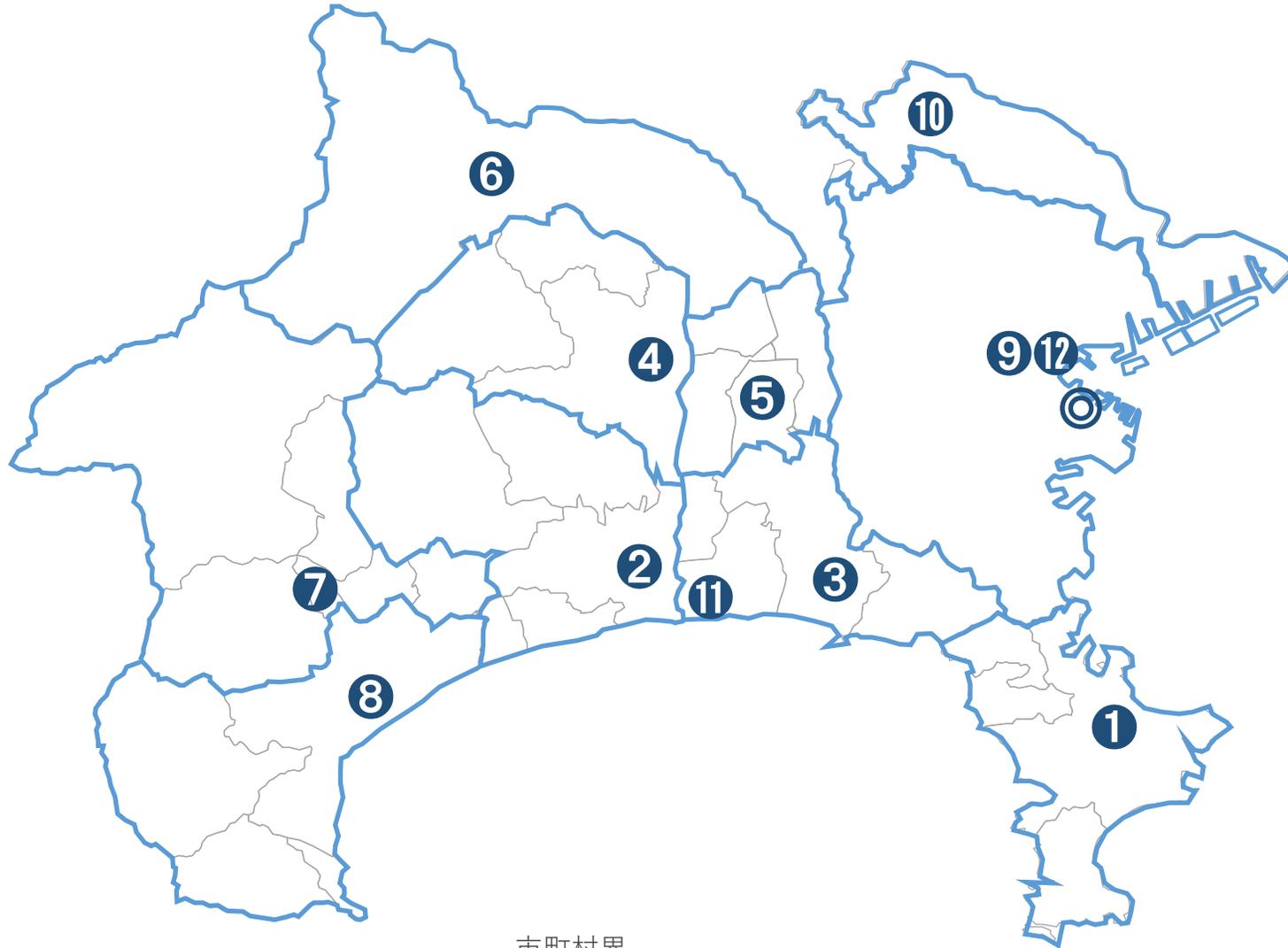


▲
県土整備局の土木職

約 550人

多くの一般事務職などと共に働いています。

県土整備局の出先機関



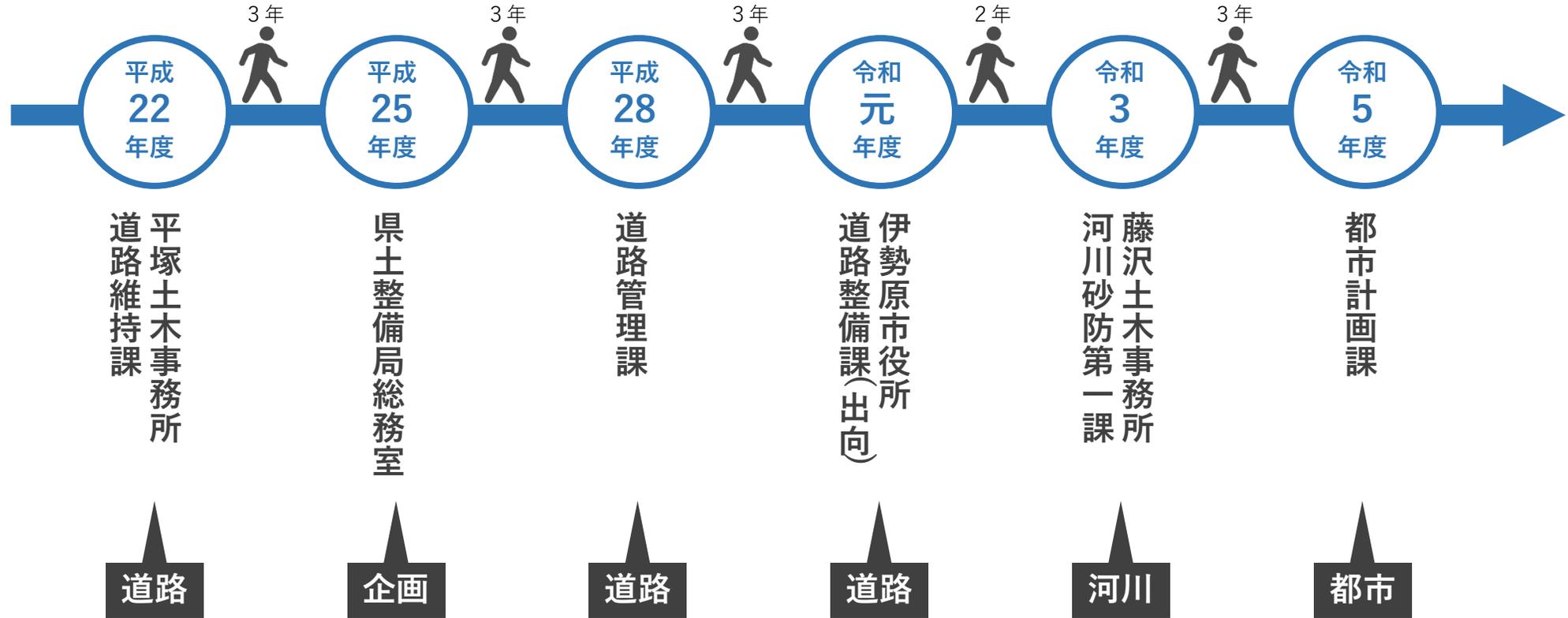
—— 市町村界

—— 土木事務所・治水事務所管轄エリア

- ◎ 県庁
- ① 横須賀土木事務所
- ② 平塚土木事務所
- ③ 藤沢土木事務所
- ④ 厚木土木事務所
リニア中央新幹線推進事務所
- ⑤ 厚木土木事務所東部センター
- ⑥ 厚木土木事務所津久井治水センター
- ⑦ 県西土木事務所
- ⑧ 県西土木事務所小田原土木センター
- ⑨ 横浜川崎治水事務所
- ⑩ 横浜川崎治水事務所川崎治水センター
- ⑪ 流域下水道整備事務所
- ⑫ 住宅営繕事務所

配属先の異動は概ね3～4年に1度のサイクル。

私の場合



基本的に転居を伴わずに各勤務地へ通勤可能。

民間企業との違い

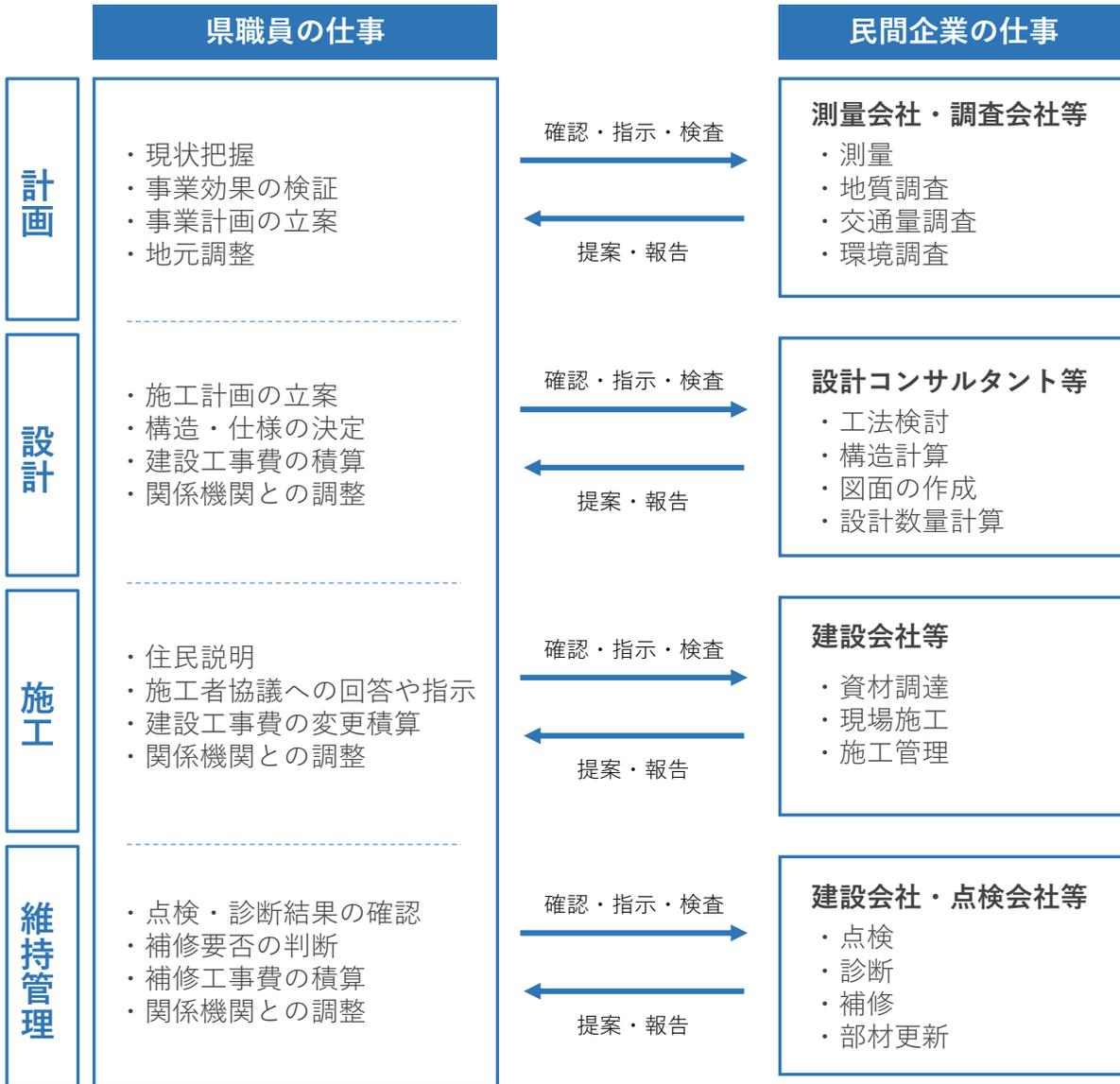
県の土木職は、土木施設に関する計画策定から、設計、施工、完成した施設の維持管理まで、各プロセスの全般に携わります。

一方で、橋梁設計などの複雑な構造解析や測量、地質調査などは設計コンサルタントや調査会社などの専門業者が行い、また、工事の施工は建設会社が行います。

民間企業では携わる業務ごとに組織が専門分化されているため、幅広い業務を経験するには転職が必要とされるケースがありますが、県の場合は、異動毎に異なる分野や立場の業務に携わることができます。

県の仕事は、幅広い視点から土木インフラに関わりたい、という人に適しているといえます。

土木施設に関わるプロセス



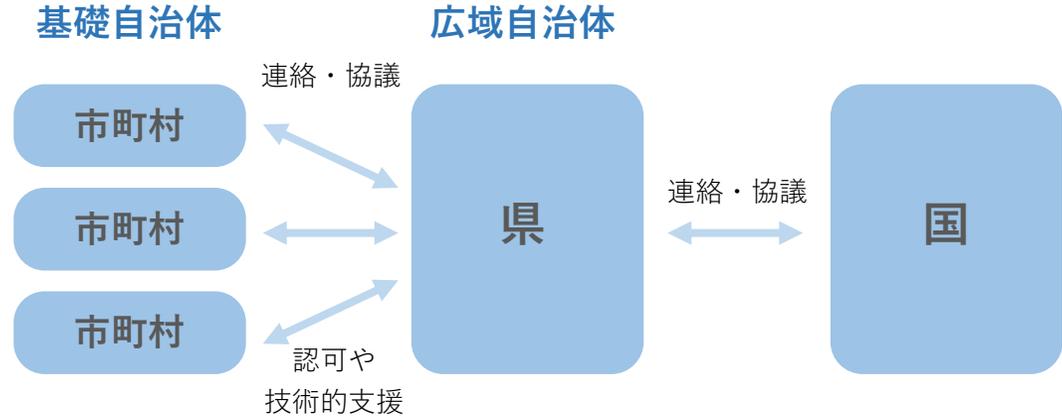
国・市町村との違い

国は全国的に関わる政策立案や法律制定などの業務を行い、市町村は生活道路となる市町村道や地域住民が利用する公園、準用河川の管理など、基礎自治体として住民に身近な行政サービスを行います。

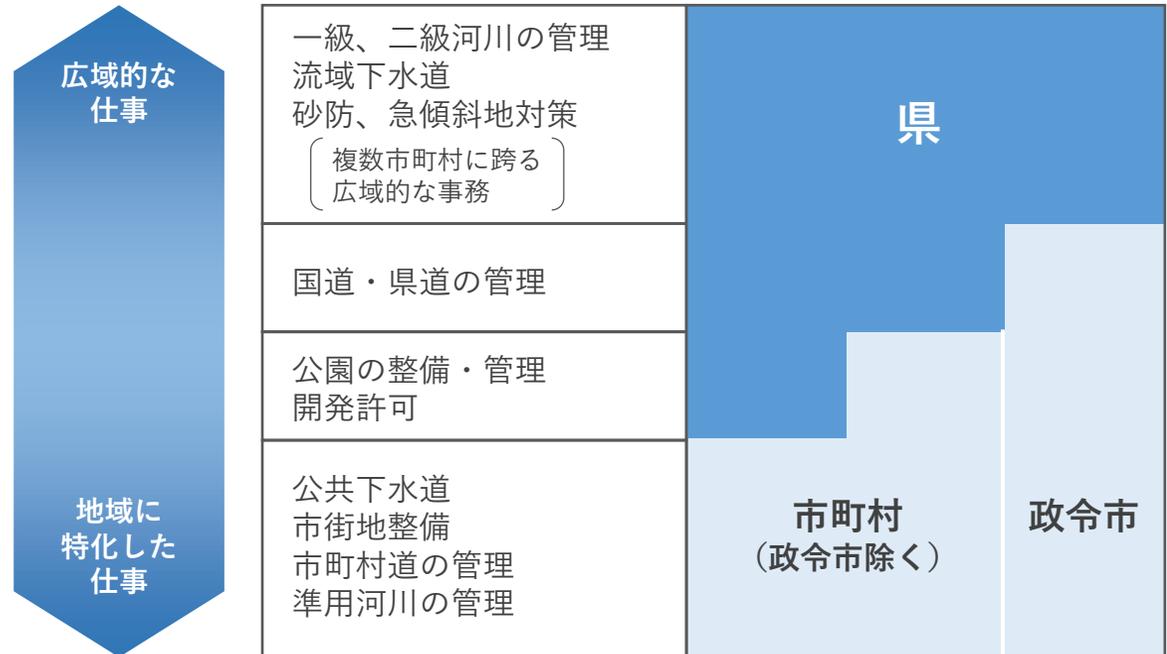
また、政令市は市町村が行う基礎自治体としての行政サービスに加え、市内の国道・県道の管理など、一部の分野では都道府県と同等の権限の下で業務を行っています。

これに対し、広域自治体である県では、広域幹線道路や一級・二級河川の整備・管理といった市町村の範囲を越える広域的な業務のほか、国や市町村との連絡事務や、市町村事業の認可、市町村に対する技術的支援などを行っています。

国・県・市町村の関わり方



県と市町村の役割分担





-本日の説明内容-

- 01 神奈川県について
- 02 県職員について
- 03 事業紹介**
- 04 働き方について



道路

広域物流の円滑化や観光交流の促進、防災・減災力の強化といった視点から、自動車専用道路への円滑なアクセスを確保するためのインターチェンジ接続道路や、地域の交流・連携を支える道路の整備を進めています。

また、今ある道路の安全性や利便性をさらに高めるために、交差点の改良や歩道拡幅や自転車道の整備などの歩行者と自転車の安全・安心の確保に取り組んでいます。

さらに、長寿命化計画を策定し、予防保全型の維持管理を基本としたメンテナンスサイクルによって施設の長寿命化を図っています。

01

神奈川県について

02

県職員について

03

事業紹介

04

働き方について



河川

台風や豪雨による水害から県民の生命と財産を守るため、洪水を貯める遊水地や、洪水を安全に下流へ流すための護岸の整備などに取り組んでいます。

また、平常時に川と触れ合える親水施設の整備も行っており、自然環境や景観に配慮した人と自然にやさしい川づくりを進めています。

(引地川下土棚遊水地)

01

神奈川県について

02

県職員について

03

事業紹介

04

働き方について

砂防

日本を代表する観光名所である箱根の大涌沢や早雲山では、過去に、大規模な地すべりに伴う土石流災害が発生しました。県では、砂防堰堤の整備や土の動きを抑える地すべり対策工事を行い、観光地の安全を守っています。

(箱根・早雲山)

01

神奈川県について

02

県職員について

03

事業紹介

04

働き方について

海岸・港湾

様々な映画や音楽の舞台となってきた湘南海岸では、減少した砂浜を回復させ、美しい風景を後世に残すため、ダムや川に堆積した砂を活用した「養浜」などを行っています。

また、江の島の湘南港などでは、多くの人が気軽に訪れることができるマリーナの整備などに取り組んでいます。

(湘南海岸)

01

神奈川県について

02

県職員について

03

事業紹介

04

働き方について

都市づくり

県土全体の広域的な都市づくりの長期ビジョンを示す都市マスタープランを策定するとともに、市町村との役割分担のもと、土地利用や都市施設などに関する都市計画を定めています。

また、市町や鉄道事業者と協力した鉄道駅周辺などにおける都市機能の集約化や、市街地整備事業による都市の基盤整備や環境改善を推進しています。

相模川が中央を流れる県央・湘南地域では、東海道新幹線新駅誘致地区を中心に相模川両岸で環境と共生する都市づくりを推進しています。

(「ツインシティ」平塚大神地区)

01

神奈川県について

02

県職員について

03

事業紹介

04

働き方について

都市公園

神奈川県が所管する都市公園は県内に27箇所（総面積約730ha）あり、海や川、都市林や森など多様な自然環境や、歴史的な遺構や文化を背景に、県民の憩いや、レクリエーションの場として、年間約1,300万人もの方々にご利用いただいています。

（あいかわ公園の遊具整備）



-本日の説明内容-

- 01 神奈川県について
- 02 県職員について
- 03 事業紹介
- 04 働き方について**

充実した働く環境

県土整備局の本庁の各所属は、主に新庁舎の11階と12階にあり、フロア一体の広々とした執務空間となっており、所属を越えてコミュニケーションがとりやすくなっています。

本庁庁舎の周辺には、数多くの観光名所があり、退庁後に買い物や職場の仲間との食事、野球観戦といったレクリエーションを楽しむ環境も充実しています。

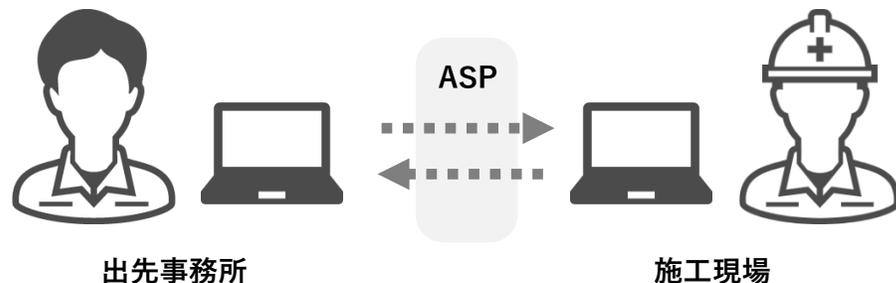


ワークライフバランスの実現

全庁を挙げて長時間労働の削減に取り組むとともに、一人一台モバイルパソコンを配備し、**テレワーク**や**時差出勤制度**により、働く場所と時間を柔軟に選べるようにすることで、職員のワーク・ライフ・バランスを実現しながら「働きやすく、働きがいのある」職場づくりを進めています。

県土整備局での取組

県土整備局では、公共工事におけるICT施工の普及に努めており、施工業者との打合せや、施工状況の確認など、現場へ行く機会が多い出先事務所においても、遠隔臨場や情報共有システム（ASP）を活用して現場の監督業務を行うことで移動時間を削減するなど、DXによる効率的な働き方に積極的に取り組んでいます。



-おわりに-

今後、土木職員を取り巻く社会情勢が大きく変化してくことで、様々な課題が顕在化し、また、多様化していくことが見込まれます。

県土整備局では、「前に踏み出すチカラ」「考え抜くチカラ」「チームで働くチカラ」※を持った方々とこれらの課題に向き合っていきたいと考えています。

※経済産業省「社会人基礎力」より



激甚化・頻発化する自然災害への対応



少子高齢化が進む社会でのインフラ整備のあり方



DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進